



市議会だより

令和6年
第1回定例会
第287号
令和6年(2024年)
5月22日発行



小金井市議会初となる「高校生模擬議会」を開催（令和6年2月8日）（8面に詳細）

過去最大、初の500億円台

一般会計当初予算を可決

令和6年度一般会計予算は、総額が前年度比約11・3%の増加となる、歳入歳出それぞれ541億3,200万円を提案されました。審査に当たり、議長を除く全議員で構成する予算特別委員会（五十嵐京子委員長）に付託し、7日間に及ぶ審査を行いました。

令和6年度一般会計予算を可決

3月25日の本会議では、組替え動議が提出され、否決した後、原案について採決を行い、起立採決の結果、原案のとおり可決しました。（詳細は2面に掲載）

なお、一般会計以外の国民健康保険、介護保険、後期高齢者医療の3つの特別会計及び下水道事業会計については、原案のとおり可決しました。

第1回定例会の概要

市長から、「令和4年度小金井市一般会計歳入歳出決算の認定について」が不認定となったことから、必要と認める措置を講じたことについて報告がありました。

本報告は、決算特別委員会での質疑、本会議での討論の概要から、不認定の主たる理由として、本市の事務執行に当たり散見された不適正な会計処理を始め、税制、補助金制度等に係る事務の運用に誤りがあったことに対し、コンプライアンス意識を強化する必要性があると捉えてなされたものです。

決算不認定を踏まえた措置に係る市長報告

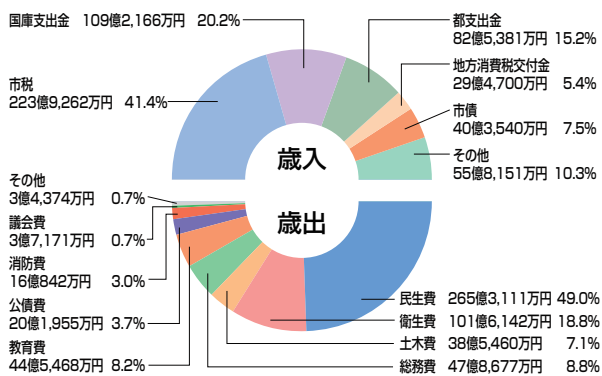
3月5日の本会議において、2月22日に東京地方裁判所から市に対し、「小金井市立保育園廃止処分取消等請求事件」の判決が出されたことを受け、市長から、判決を重く受け止めて控訴はしないこと、原告のお子さんの受入れや賠償金等の支払を速やかに行うことを講じる旨の報告がありました。

本条例は、本判決を踏まえ、市立保育園条例の改正が必要となったこと、また、将来の人口減少等を見据えた新たな保育業務の総合的な見直し方針における課題への対応が差し迫った問題となっている状況から提出されたものです。具体的には、市全体の保育の質の維持・向上に向けて、すこやか保育ビジョンにおける市が果たす役割等の具体化を図るため、市内の保育施設の状況を踏まえて、専門的かつ幅広い視点から、今後の市立保育園の役割及び在り方を検討するための委員会を設置するものです。なお、本委員会は、学識経験者、保育事業に従事する専門職者、公募市民等の10人以内で構成されます。

3月25日の本会議では、委員会付託を省略し、採決の結果、原案のとおり可決しました。

市立保育園の在り方検討委員会設置条例を可決

一般会計 予算額541億3,200万円



日	内容
26日	本会議（陳情の委員会付託）
25日	本会議（委員付託案件の採決、議案の審議・採決、議員提出議案の審議・採決、会期の延長）
21日	建設環境委員会 総務企画委員会 予算特別委員会 厚生文教委員会 議会運営委員会
19日	行政改革推進調査特別委員会
18日	庁舎等建設及び公共施設マネジメント推進調査特別委員会
15日	予算特別委員会
14日	予算特別委員会
13日	予算特別委員会
12日	予算特別委員会
11日	予算特別委員会
8日	予算特別委員会
7日	議会運営委員会
6日	総務企画委員会
5日	本会議（市長報告）
4日	建設環境委員会
4日	厚生文教委員会
1日	本会議（一般質問、議案の審議・委員会付託・採決、市長報告、陳情の委員会付託）
29日	本会議（一般質問）
28日	本会議（一般質問）
25日	本会議（一般質問）
22日	本会議（議案の審議・委員会付託）
21日	本会議（令和6年度施政方針の質疑）
20日	本会議（議案の審議・採決、陳情の採決、令和6年度施政方針）



審議した主な議案

令和6年度一般会計予算

2月22日の本会議において予算特別委員会(五十嵐京子委員長)に付託し、3月8日、11日、12日、13日、14日、15日及び21日の計7回にわたり審査を行いました。

歳出予算の主な内容は、中間処理場跡地に建設を進めている資源物処理施設整備事業の措置に係る費用を含む「塵芥処理に要する経費」(66億5千119万円)、市内における未着手の都市計画道路の必要性を検証し、市施行路線の優先順位を整理するための費用を含む「都市計画事務に要する経費」(2千27万3千円)、各小・中学校が快適で十分な安全性及び衛生的な環境を備えた安全・安心なものとなるよう、施設の改修及び設備の更新に係る費用、学校施設長寿命化計画に基づく施設の老朽化対策と学級数増への対応のため、第一小学校、緑小学校における校舎増改築等の設計を進め、工事に着手するほか、東小学校において増築校舎を借り上げるための費用を含む「学校施設整備に要する経費」(4億5千27万9千円)、名勝小金井(サクラ)名勝指定100周年を記念して、式典、学校植樹、記念看板設置、記念ブックレット作成等を行うための費用を含む「名勝小金井(サクラ)復活プロジェクトに要する経費」(千45万5千円)、などです。

3月21日の委員会では、起立採決の結果、可否同数となり、

委員長裁決により、原案のとおり可決すべきものと決定しました。

3月25日の本会議では、安田議員ほか1名から、男性H.P.Vワクチン接種に関する歳出の削減を求める組替え動議が提出されましたが、否決した後、原案について採決を行い、起立採決の結果、起立多数により、原案のとおり可決しました。

賛成討論(要旨)

河野麻美(自民党・信頼) 会派として要望した施策が多く予算化された点は評価するが、市長の政策意思の見える予算が少なく提案姿勢にも問題があった。優先整備路線に対する検証はその目的や方向性、具体的な内容について市長の説明が質疑の度に二転三転し、何のための検証なのか不明瞭であった。政策熟度を高めての提案を求める。また、なかよし市民まつり開催中止に係る対応や公共施設の修繕、公立保育園等多くの課題があり最小の経費で最大の効果を出す計画的な行政運営を求める。

賛成討論(要旨) 水の上洋志(日本共産党) 公立保育園廃園取消訴訟において、廃園条例は無効との判決が示された。それにもかかわらず市長は、判決は原告の児童だけが対象で、廃園条例は有効との立場を表明した。コンプライアンスに重大な問題がある。元の条例に戻し、廃園2園での募集再開を求める。また、物価高騰等の中、更なる市民生活支援が必要。学校給食費無償化など実現すべきである。そして、市庁舎等建設がコストや広場、耐震構造など問題がある現設計で進めることから反対する。

賛成討論(要旨) 水谷たかこ(こがおも) 賛成の主な理由は、提案してきた事業が含まれていることだ。例えば新庁舎等建設、公共施設の在り方・再編方針策定、市報リニューアル、DX推進、産後ケア事業の拡充、こどもの意見反映への積極的な取組、部活動地域連携計画策定等である。市立公園の指定管理が始まるが、市民から要望が多いボール遊びができる場所を増やせるよう市民とも協働しながら実現してほしい。働きやすい環境づくりにともなう会議の一員として貢献したいので各位のご協力を願う。

賛成討論(要旨) 坂井えつ子(緑・つながる) 議会の議決も経て進めてきた新庁舎等建設事業は、着実に進めていくべきだ。はけと野川をこわす都市計画道路の検証は、環境・動植物や地域コミュニティへの影響調査と、2路線の中止を都に要望する判断を望む。玉川上水は桜だけではなく他の樹木のいのちも等しく尊重した維持管理を求める。地方分権以降、市役所の業務は増えたが、人減らしの行革が続き、余力がない状況だ。繁忙期対応と市の課題解決のため、人員の適正配置の検討と必要な措置を求める。

賛成討論(要旨) 森戸よう子(日本共産党) 認証保育所は、認可保育所に入所できない児童と保護者を支援するため、重要な役割を果たしてきた。東京都の認証保育所の開設条件は0歳児保育が必須条件。この間の定員割れは認証保育所でも影響がある。市は認可保育所とは違っていると、定員割れの補助や認証保育所の子どもの安全のための修繕費用を出すつもりはないと答弁したが、市役所庁舎にはほとんどお金を使わずにいくのに、認証保育所のわずかな修繕費用が出せないという姿勢は見直すべきである。

賛成討論(要旨) たゆ久貴(日本共産党) 小金井市は介護保険料の800円の値上げを決めた。低所得者への保険料減免制度の対象者の拡大を行ったことは評価できるが、保険料の負担増は行うべきではない。訪問介護の基本報酬引き下げも深刻であり、行うべきではない。国はそもそも、社会保障・介護にもっと予算を増額するべきであることと、小金井市は現状においても市として予算を回して介護・高齢者福祉を充実させることを強く求める。

賛成討論(要旨)

片山かおる(子どもの権利) 裁判所による、廃園専決処分は違法で廃園条例は無効という判断に対し、市長は控訴しないが違法で無効は原告にのみ適用、廃園条例は生きていて、園児募集は再開せず、原告のお子さんのみ入所と報告。子どもの権利を大きく侵害する市長に強く抗議。司法判断に背かず、違法で無効な条例での保育行政を正し元の条例での運営を求める。庁舎建設に関して市民の意向聴取の実施を求める。都市計画道路2路線の検証は、執行前に議会と十分に協議すべきである。

賛成討論(要旨)

村山ひでき(みらい) 事業者に対する補助メニューを新設し支援する障害者日中活動系サービス推進事業、本町小学校での試行が始まる小学校水泳授業委託、学校部活動の地域連携に関する検討委員会の開催、住民税と国民健康保険税の電子納付追加、民設民営学童保育の実施、市立公園指定管理委託の開始、名勝小金井(サクラ)100周年記念事業を評価する。また、今年10月の市民まつり中止の周知と能登半島地震発生後の教訓をいかした災害対応備蓄品の購入を要望する。

賛成討論(要旨)

清水がく(街の仲間たち) 福祉総合相談窓口の地区担当包括化推進員の増員によるきめ細やかな相談体制、武蔵小金井駅北口再開発事業、小金井桜名勝指定100周年事業など市民生活に重要な予算が多く盛り込まれていることは評価する。一方で、都市計画道路に関する検証は東京都に事業中止要望書を出すための予算であり、12万市民の生命を守るべき小金井市長として大変無責任である。初当選から言い続けてきた「命を守る道路」3・4・11号線の必要性をこれからも市長に伝え続ける。

賛成討論(要旨)

高木章成(子どもの権利) 小金井市下水道事業会計予算に税を厳しく監視する観点から反対討論する。下水道事業会計及び下水道事業特別会計から毎年納付している消費税等の納付税額が不足していることが判明し、補正予算に延滞税12万2千円が特別損失として計上された。長年、時効消滅分を含めて納税を懈怠しており、コンプライアンス上、極めて問題だ。何を契機にこのような懈怠が始まったのか、職員の責任を問うべきで、延滞税にかかる求償権行使がない本予算に反対する。

賛成討論(要旨)

広報協議会を開催しました 【3月19日】 ▶ 各部会の状況報告について ▶ 議会改革の調査事項について

閉会中の委員会日程及び審査案件

議会運営委員会 4月15日(月) 午前10時 5月27日(月) 午後2時 審査案件: 5件	行財政改革推進調査特別委員会 4月23日(火) 午前10時 審査案件: 1件
厚生文教委員会 4月18日(木) 午前10時 審査案件: 5件	庁舎等建設及び公共施設マネジメント推進調査特別委員会 5月8日(水) 午前10時 審査案件: 1件
総務企画委員会 4月22日(月) 午前10時 審査案件: 1件	建設環境委員会 5月20日(月) 午前10時 審査案件: 2件

※各委員会の審査案件は、二次元コードをスマートフォン等で読み取ると、ご覧いただくことができます。

※委員会等の映像については、YouTubeで中継・録画配信しています。

※紙面の都合により、審査案件の掲載は省略しています。

各案件に対する討論の原稿は、議員が作成しています。

議案の審議結果	○：賛成 ×：反対 △：退席 -：欠席(病欠療養) 議：議長(原則、採決には加わらず)																議決結果								
	自	み	子	共	公	お	参	ネ	緑	街	付託先														
付託先略称	河野麻実	吹春やすたか	五十嵐京子	遠藤百合子	岸田正義	沖浦あつし	鈴木成夫	村山ひでき	古畑俊男	渡辺大三	高木章成	片山かおる	たゆ久貴	水上洋志	森戸よう子	渡辺ふき子	小林正樹	宮下誠	水谷たかこ	斎藤康夫	安田けいこ	坂井えつ子	清水がく	議決結果	
賛否が分かれたもの																									
小金井市手数料条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議決結果
令和5年度小金井市下水道事業会計補正予算(第2回)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議決結果
令和6年度小金井市一般会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議決結果
↳ 令和6年度小金井市一般会計予算に対する組替え動議(議員提案)	×	×	×	×	×	×	×	×	△	○	○	×	×	×	×	×	×	議	×	○	○	×	×	即	否決
令和6年度小金井市国民健康保険特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議決結果
令和6年度小金井市介護保険特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議決結果
令和6年度小金井市後期高齢者医療特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議決結果
令和6年度小金井市下水道事業会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議決結果
小金井市組織条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議決結果
小金井市個人番号の利用並びに特定個人情報の利用及び提供に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議決結果
職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議決結果
小金井市国民健康保険税条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議決結果
小金井市介護福祉条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議決結果
小金井市指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議決結果
小金井市指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議決結果
小金井市指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議決結果
小金井市指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議決結果
橋りょう長寿命化補修整備(いちご橋)に関する施行協定の変更について	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議決結果
令和6年度小金井市一般会計補正予算(第1回)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議決結果
小金井市立保育園の在り方検討委員会設置条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議決結果
全会一致となったもの																									
小金井市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例、東京都後期高齢者医療広域連合規約の一部を変更する規約																							厚	原案可決	
小金井市アスベスト飛散防止条例の一部を改正する条例、小金井市下水道条例の一部を改正する条例、小金井市地域公共交通活性化協議会条例の一部を改正する条例																							建	原案可決	
小金井市職員の勤務時間、休日、休暇等に関する条例の一部を改正する条例、小金井市会計年度任用職員の報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例の一部を改正する条例																							総	原案可決	
令和5年度小金井市一般会計補正予算(第12回)、令和5年度小金井市国民健康保険特別会計補正予算(第3回)、令和5年度小金井市介護保険特別会計補正予算(第2回)、令和5年度小金井市後期高齢者医療特別会計補正予算(第2回)																							予	原案可決	
令和5年度小金井市一般会計補正予算(第11回)、小金井市市税条例の一部を改正する条例																							即	原案可決	
人権擁護委員候補者の推薦について																							即	異議ない旨の意見提出	

【会派略称】 自：自由民主党・信頼の小金井 参：参政党小金井
 み：みらいのこがねい 子：子どもの権利を守る会 共：日本共産党小金井市議団 公：小金井市議会公明党 街：街の仲間たち
 ネ：生活者ネットワーク 緑：緑・つながる小金井

請願・陳情の審議結果	○：賛成 ×：反対 △：退席 議：議長(原則、採決には加わらず)																議決結果								
	自	み	子	共	公	お	参	ネ	緑	街	付託先														
付託先略称	河野麻実	吹春やすたか	五十嵐京子	遠藤百合子	岸田正義	沖浦あつし	鈴木成夫	村山ひでき	古畑俊男	渡辺大三	高木章成	片山かおる	たゆ久貴	水上洋志	森戸よう子	渡辺ふき子	小林正樹	宮下誠	水谷たかこ	斎藤康夫	安田けいこ	坂井えつ子	清水がく	議決結果	
市長へのEメールにおいて送信者の質問文を添付して返答することを求める陳情書	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議決結果
市民との協働による気候危機対策の推進に関する陳情書	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	○	○	議決結果
学校給食の無償化についての意見書の提出を求める陳情書	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議決結果
小金井市消防団第一分団における出動手当不正請求事件について、全容解明と責任の所在の明確化を求める陳情書	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議決結果
公益通報者保護法の趣旨に添い、あらゆる通報者情報暴露リスクから通報者を守ることを求める陳情書	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議決結果
技術的に懸念のある構造物を公共の建物に使わないことを求める陳情書	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	議	×	×	×	×	庁	不採択
議会において新庁舎設計案の見直しの決議を行うことを求める陳情書	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	議	×	×	×	×	庁	不採択
福祉的視点から高齢者施策の充実を求める陳情書	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	議	×	×	×	×	厚	不採択
客観的な証拠を提出できない公務員の業務のあり方を改めることを求める陳情書	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	議	×	×	×	×	厚	不採択
応募者の人数について確認のとれない社会教育委員の選考についてそれが適正に行われたかの調査を求める陳情書	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	議	×	×	×	×	厚	不採択
小金井宮地楽器ホールを市民が利用しやすい様に改善を求める陳情書	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	議	×	×	×	×	総	不採択
認証保育所への公的補助に関する陳情書	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	議	×	○	○	×	厚	不採択
小金井市議会は可燃ごみ焼却においてご負担をおかけしている日野市民に対して感謝の意を顕わす決議を行うことを求める陳情書	×	×	×	×	×	×	×	○	○	△	△	△	△	△	△	×	×	議	×	×	×	×	建	不採択	

*紙面の都合により、陳情の要旨の掲載は省略しています。

【会派略称】 自：自由民主党・信頼の小金井 参：参政党小金井
 み：みらいのこがねい 子：子どもの権利を守る会 共：日本共産党小金井市議団 公：小金井市議会公明党 街：街の仲間たち
 ネ：生活者ネットワーク 緑：緑・つながる小金井

次の定例会中の委員会で審査する請願・陳情の提出期限は、5月31日(金)午後5時までです。

日曜議会を開催しました

平日に傍聴に来られない方にも議会の様子を知っていただくため、2月25日に日曜議会を開催しました。

当日は、各議員がおおむね15分以内もしくは20分以内で、市政の運営や方針などについての質問や政策提案を行い、市の見解を求めました。

一般質問

(4面～6面) 2月25日、28日、29日、3月1日

※原稿は市長部局の答弁も含めて各議員が作成しています。
<二次元コードについて>
スマートフォン等で読み取ると、YouTubeでご覧いただくことができます。
上側:2月25日(日曜議会) 下側:2月28日、29日、3月1日
(いずれか一方のみを行った議員は、下側に掲載しています)

会派の略称

(自民党・信頼)	自由民主党・信頼の小金井	(こがおも)	小金井をおもしろくする会
(みらい)	みらいのこがねい	(参政党)	参政党小金井
(子どもの権利)	子どもの権利を守る会	(生活者ネット)	生活者ネットワーク
(日本共産党)	日本共産党小金井市議団	(緑・つながる)	緑・つながる小金井
(公明党)	小金井市議会公明党	(街の仲間たち)	街の仲間たち

「トイレパニック」この言葉で存じですか



吹春やすたか (自民党・信頼)

「トイレパニック」という言葉は阪神・淡路大震災で避難所トイレの便器が排泄物であふれ返ったことから発生した言葉。東日本大震災、熊本地震でも同じ状況に陥ったことが確認されている。大震災が発災し、避難所等が既存のトイレを使うと「トイレパニック」が起きる。被災地の避難所ではトイレを使用させないために「使用禁止」の張り紙やトイレ入口に段ボール紙をガムテープで貼り付け、更にトイレ前には机などをバリケードのように設置したことが確認されている。絶対に(既存の)トイレを使わせない強い意志を示したものである。災害関連死を防ぐためにもトイレは優先課題として準備は必要である。(ア)現在12の避難所に設置しているマンホールトイレ組立動画をSNS等に掲載しないか。(イ)マンホールトイレ使用の共通ルールを設定しないか。(ウ)能登半島地震被災地で26台稼働しているトイレトレーラー導入を本市でも検討しないか。

部長 (ア)組立動画はメリットある有効な手段と考えられる。(イ)共通ルールは災害時の使用例から研究したい。(ウ)報道等で活躍は把握している。導入には複数課題があり研究課題とした。

どうする?どうなる? 小金井なかよし市民まつり



村山ひでき (みらい)

市は令和6年度の市民まつりを休止し在り方を検討すると決定したが(ア)理由は、(イ)庁内での決定過程に問題あり。誰が休止方針を決めたのか。庁内で共有した経過は。(ウ)なぜ市長は他の部署に相談せず庁議等の議題にしなかったのか。(エ)市民参加の観点から問題あり。市民まつり実行委員会に休止方針を伝えたのか。なぜ結論を出す前に関係市民の声を聴かず意向を確認しなかったのか。(オ)実行委員会で協議した結果、縮小開催等の結論が出たら予算措置を考えるべき。

部長 (ア)昨年10月に商工会より人員不足等から市民まつり事務局を撤退し補助金を辞退したいとの連絡があり、現時点では開催しないという決定に至った。(イ)約3か月間、様々な案の検討を行ったが、今年1月中旬に市長が休止を決定。直ちに担当課から市民まつりに出展している関連部署に連絡。全庁への情報共有は2月6日の庁議で行った。(エ)まだ実行委員会に休止のお知らせができていない。早急に休止の説明と各部署の意向確認等を行う予定。

市長 (ウ)結論が出る前に庁議に付議することは適さないと判断した。(オ)今後の検討に基づき関係部署と調整したい。

地域の防災資源を点検し、市民防災力の向上を



鈴木成夫 (みらい)

能登半島地震発生後の今だからこそ、地域防災力の点検をしないか。

部長 自主防災組織の資機材は、10月に貸与している資機材の状態をお尋ねした。結果、可搬ポンプエンジン不動作2台、フィルタ不良1台だった。一度貸与している22台全ての可搬ポンプのメンテナンスを行うことは検討すべき課題と考えている。D級可搬ポンプは令和2年で全メーカーが製造を終了し、流通在庫も存在しない。可搬ポンプは震災時、断水時でも防火水槽等から放水可能で、大震災直後に、地域の力で延焼を防ぐ強力な機材の一つと認識している。可搬ポンプが存在しない消火活動の在り方や代替機材について、消防署とも協議し、研究を進めている。

■その他、誰ひとり取り残さない、切れ目ない子どもたちの支援実現のための幼保・小連携を実現しないか質問しました。



自主防災組織が保有する可搬式ポンプとスタンドパイプ

更なる防災対策の推進 認知症施策の推進を



小林正樹 (公明党)

①令和6年能登半島地震の経験をどういかに活かすかが問われる。(ア)災害時相互応援協定を北陸地方等にも広げないか。(イ)キッチンカー事業者と災害協定を結ばないか。(ウ)食料が断られた時、食料として利用できる防災植物の理解を広げないか。

部長 (ア)機会を捉え交流を深め、機運醸成を図っていく。(イ)新たな協定先の一つとして、どのようにしていくのか研究したい。(ウ)様々な防災備蓄食料がある中、防災植物についてもその一つとして、研究したい。

②災害発生時には確かで間違いのない、地域に密着したきめ細やかな情報を高齢者等全ての人を受け取れる環境を整えることが求められる。災害時の情報インフラとして「コミュニティFM」を多摩地域では15市が活用している。小金井市でも導入しないか。

市長 非常に有用なツールである。その上で、既に本市にある情報発信ツールとの関係整理、また安定的な運営ができるのかも課題である。市全体で研究していく必要がある。

■その他、認知症予防として「eスポーツ」の導入検討。尊厳を守るケア技術である「ユマニチュード」の普及・啓発について質問しました。

商店会が災害時に果たす役割は非常に大きい



清水がく (街の仲間たち)

①まちを元気にするため、地域組織として日々活動しているのが商店会である。まちの見守り役でもあり、災害時に商店会が果たす役割は非常に大きい。災害時における商店会の役割を伺う。

部長 商業活動のほか地域のお祭り、環境美化活動、防災活動、炊き出し訓練などに取り組みされていることは把握している。商店会は地域コミュニティの核として重要な役割を担っている。また、地域の安全・安心を第一に考えていただき非常に心強く感じている。

②私は、商店会が町会・自治会と同じような役割を担っており、まちを守るための役割を十分期待できると考える。また、市長は自主防災組織の強化をされている。今ある自主防災組織に商店会連合会や商店会を含むことはできないか。

部長 商店会連合会としての活動が災害時における復旧復興の力のひとつにもなり得る。状況に応じて商店会の果たすべき役割は期待される。また有事の際の状況を考えるとの確かな行動を迅速にとることが可能ではないかと考える。これらのことを踏まえ商店会を自主防災組織にすることは研究課題とさせていただきます。

武蔵小金井北口喫煙所と受動喫煙防止対策を問う



岸田正義 (みらい)

多摩地域の中央線沿線駅前公衆喫煙所がないのは実質小金井市だけ。厚労省が自治体の責務とする駅前や商店街の受動喫煙防止対策を早急に行わないことは行政の不作为である。(ア)1年前に課題と指摘した庁内横断的な会議は開催して策の検討は。(イ)庁内協議は行っていないのか。(ウ)ガイドラインではなく条例制定で実効性を担保する考えは。(エ)ガイドラインはいつまでに策定するのか。(オ)路上喫煙禁止区域に指定喫煙所を指定する条例改正の考えは。(カ)駅周辺に喫煙所設置の見立ては。(キ)喫煙所設置

への東京都の半額補助は令和6年度までであり、早急に取り組みむべき。(ウ)ガイドライン策定を待つのではなく、当該喫煙所の課題解決に早急に取り組みむべき。

部長 (ア)健康増進計画に受動喫煙防止対策を明記しガイドラインを策定する。

市長 (イ)課長職による庁内横断的な会議は開催してない。(ウ)現時点での見解は控える。(エ)期限は言えない。(オ)確定的なことは言えない。(カ)具体的なことは未定。(キ)補助事業の動向も注視しつつ検討していく。(ウ)スピード感を持って対応できない現状は認めざるを得ないが受動喫煙防止対策に可能な限り早く取り組みたい。

会議録が早くご覧になれるよう、未定稿(校正中)を公開しています。

<http://www.city.koganei.tokyo.dbsr.jp/>



小金井の歴史 今年の名勝小金井桜100年



五十嵐京子
(自民党・信頼)

今年の名勝小金井(サクラ)として評価されて100年になる。江戸時代1737年に玉川上水に植えられた山桜は、1800年を超えて、今年から次第に有名になり、小金井橋に桜見物に訪れる人が増えたそう。市が発行した「名勝小金井桜総覧」には多くの文人・詩人がここを訪れ、桜を評価する文章や短歌や俳句を残したことが記載されている。それから100年以上経ってこの美しい景観が名勝小金井と指定された。(ア)指定された地域には小金井市の他に、小平市、西東京市、武蔵野市が含まれる。武蔵小金井駅

が花見のための臨時駅として開設されたが、小平市の小金井という駅は名勝指定後の昭和2年に開業、こちらも花見のための駅だったのは明らか。同じ歴史を共有している関係市には100周年記念行事に参加していただきたいし、とりわけ小平市には声をかけていただきたいが、いかがか。(イ)小金井市民向けにも記念式典予定の12月までに市として連続講座を組み、名勝小金井や武蔵小金井駅開設の歴史などを知っていただくことを提案したい。

部長 (ア)連携を検討していきたい。(イ)是非実現させたい。

学童保育所の維持管理 及び修繕について



古畑俊男
(子どもの権利)

小金井市学童保育連絡協議会から9学童全において補修や修繕に関する要望がある。このうち4か所の学童保育所を訪問して感じた施設全体の在り方について市の見解を質したい。(ア)学童保育所の維持管理について。各学童保育所における補修や修繕の優先順位について、どのように考えているか。(イ)施設の維持管理は、主管課の対応のみならず、全庁的な現状把握や予算執行を含めた一元的管理が必要と考えるが、市の見解は。(ウ)現時点での課題に対応していくための庁内の組織改正は直ぐには難しい

と思うが、試験的に小規模な改正を考えないか。

部長 (ア)施設の状態を現場担当から聞き取り、現場確認等を行った上で、児童が安全に過ごすことができているかを踏まえ、優先度を考えている。(イ)各施設の利用環境は様々であり、各所管課による管理が即応性は高いと考える。現行体制の中でもできる取組は引き続き進める。

市長 (ウ)組織改正については、現段階で具体的なことは言えない。タイミングとしては、庁舎、福祉会館の移転時と考えている。その他、各学童保育所各々の修繕に関する方策について質問しました。

多様性を尊重し誰もが 安心して暮らせるまちを



渡辺ふみ子
(公明党)

①わが市に在住の外国人の中で、市立小中学校に通う外国籍の子どもの人数は120人であり、そのうち小学校では9人、中学校では5人が日本語指導を受けている。(ア)日本語指導補助員1人では不足しており、拡充するべき。(イ)外国人が会話で分かりやすいのは「やさしい日本語」であるという。障がいのある人や難聴の人にも分かりやすい「やさしい日本語」パンフレットを作成し、市役所の職員にも研修を。(ウ)市役所に多文化共生担当の専用窓口を設置するべき。

部長 (ア)拡充も検討したい。(イ)防災とやさしい日本語の研修で使っているパンフレットを活用したい。

市長 (ウ)担当窓口の整理は課題と考える。

市長 (ウ)拡充も検討したい。

小金井市独自の 特産品を考えないか



遠藤百合子
(自民党・信頼)

①各農家の方々のご協力により個々のブランド品の開発は盛んであり、J.A東京むさし、小金井ファーマーズ・マーケット等で加工品が販売されている。(ア)現在、特産品として取り組まれているものがあるのか。(イ)農業振興や産業振興にもつながる取組であるので、まずは市独自の特産品づくりのためのチームづくりをしないか。

部長 (ア)現在、特産品として取り組んでいるものはないが、過去には特産品の取組が検討された経緯がある。(イ)農産物を生産している方々や、それらを使用し

ている地域の事業者の方々などを中心となり、チームを作ることで、継続的な検討が可能である。機会を捉えてお話を聞いていきたい。

②大事な方を亡くされ、グリーフに陥り、不安定な状態の時、じっくりと傾聴し寄り添うサポートは心強い。(ア)グリーフケアの認知は。(イ)おくやみガイドブックにグリーフケアの記載は。部長 (ア)グリーフケアはその方の死生観も深く関わる内容となっており、講演事業等を通し、関係機関と連携を図りながら、情報提供を行っていききたい。(イ)安心できる相談場所のご紹介というところで掲載したページを用意している。

公共施設における 経営努力の具現化を



沖浦あつし
(みらい)

①公共施設の照明・空調設備のLED化や自動制御による省エネ性能向上を図り、設備工事費を光熱費削減により何年で回収できるかを試算した上の見解は。また、包括エネルギーサービス(ESCO)事業者へサウンディング調査をしてみたい。(イ)庁舎等、新施設の敷地内有効活用による歳入確保策を市民参加で取り組むなど、公共施設の在り方を市民に前向きに考えてもらうための努力が今後必要と考えるが見解は。

部長 (ア)照明について、一般照明用蛍光灯の製造輸入が令和9年末までとなり、

計画的なLEDへの切替えが課題。小・中学校各1校と児童館2館で試算し、特に学校や体育館で相当メリットが見込まれる。ただ、昨今の建設単価上昇や人手不足等の影響で金銭的な効果は流動的。空調については既にリース導入施設がある一方、リースやESCOでは交付金等の歳入がなく、またリースアップ後の維持管理等も含め慎重な検討が必要。なお、現在全庁にLED化未対応状況の調査中でその実態を踏まえてご指摘の調査含めどの方向が適切か検討する。(イ)令和6、7年度で公共施設の在り方方針等策定を進め、ご指摘のような努力をしていく。

16年経過したバリアフリー 基本構想の改定を



坂井えつ子
(緑・つながる)

他自治体に先駆け、2008年にバリアフリー基本構想を策定したことは評価している。(ア)構想を確実に実施するため、特定事業計画を策定し、推進体制を構築するとあるものの、見受けられない。現状は。(イ)構想策定から16年が経過した。バリアフリー法が改正され、小金井市では障害のある人もない人も共に学びに生きる社会を目指す条例を制定した。状況の変化を踏まえた改定を。(ウ)基本構想には「障害」という言葉に対する認識が様々であり、障害者に代わる適当な表現をつくり出す必要性があること

を問題提起し、本構想では「障害のある人と表現する」とある。医学モデルから社会モデルへという考えが浸透してきた視点も踏まえ、改定を。市長の見解は。

部長 (ア)構想を基に、各部署が取組を推進し、都府の福祉のまちづくり条例もある。計画策定や推進体制を挙げていたものの、これらによらず進んできた。(イ)内容など更新の必要性については、今後検討したい。

市長 (ウ)社会モデルの浸透はまだ十分ではない。今後、どう取り組むかが重要で、市として検討したい。その他、香害・化学物質過敏症の周知と、学校給食の維持向上を求めました。

小さく生まれた赤ちゃん 支援／不登校支援の充実



水谷たかこ
(こがおも)

①小さく生まれた赤ちゃんの割合が本市でも増えている。(ア)他自治体を参考に、リトルベビーハンドブックの配布や市HPでの情報提供を。(イ)産後ケアや育児支援ヘルパーの利用期間は修正月齢で利用できるか。(ウ)当事者が交流する機会をつくり、ニーズの聞き取りを。

部長 (ア)「小さく生まれた赤ちゃん」という冊子や成長曲線の記入用紙を配布している。市HP掲載も検討したい。(イ)産後ケア事業は修正月齢で利用可能。育児支援ヘルパーは母親又は子が退院してから4か月間利用可能。今後はリーフレット等の記載も工夫したい。(ウ)本市でも交流の機会やニーズの聞き取り等、支援の充実を検討していきたい。

②不登校の子が増加し、もくせい教室の利用者も増加した。メタバースを利用する子もいるが、半数の子はどちらにもつながっていない。(ア)フリースクールとの連携は進んだのか。(イ)経済的支援は来年度も続くか。

部長 (ア)東京都教育委員会の協議会に参加して意見交換したり、副校長会に関係者と呼んで話を聴いたりしており、今後も連携を図りたい。(イ)都から通知が来たら該当者に連絡する。

その他、保育の在り方検討等を提案しました。

近隣市と相互乗り入れで 健康診断を受けやすく



安田けいこ
(生活者ネット)

市境在住の市民から市の健康診断を隣接する他市の医療機関で受けられるようにしてほしいと要望がある。40歳以上が対象の特定健診について伺う。(ア)近隣で他市と乗り入れを行っている自治体は。(イ)後期高齢者医療制度導入前の基本健診の受診率は約80%だった。特定健診受診率の目標値は。(ウ)国分寺市と小平市は相互乗り入れに積極的と推測するが自治体間の情報交換は。(イ)相互乗り入れの問題点にデータ入力やPCシステムが挙げられる。市が技術的支援を行うことはできないか。(イ)各自自治体で検査項目

や案内の仕方、対象者の年齢などシステムの違いが大きいことが相互乗り入れの進まない一因ではないか。乗り入れしやすい制度づくりを都へ要望しないか。

部長 (ア)隣接する7市では小平市と国分寺市がそれぞれ隣接3市と相互乗り入れを行っている。(イ)令和11年度までに受診率60%が目標。(ウ)話があれば何かが実際に医師会の意向が重要になる。(イ)医師会のシステムのため市のフォローは難しい。(ウ)近隣自治体と情報交換し対応を検討したい。その他、災害時避難所生活というテーマで、トイレ問題や飲用水の安全性、香害等について質問しました。

能登半島地震を踏まえ 災害対策の強化を求める



水上洋志

日本共産党

①木造住宅耐震助成の拡充を求める。(ア)令和7年度に木造住宅耐震化を概ね完了する目標実現の課題は何か。(イ)助成の増額やマンシヨン等への対象拡大、新耐震基準建築物を対象にすることを求める。(ウ)新耐震基準建築物への都の補助はどのようになっているのか。

部長 (ア)耐震診断、改修等の件数増、新耐震基準建築物への対象拡大がある。(イ)国や都、他自治体の動向を注視し研究とする。(ウ)本年度から補助対象を拡充。②災害時要援護者の支援計画と福祉避難所について問う。(ア)支援計画作成の対

象者数と策定した数はどうか。(イ)促進への課題は何か。(ウ)国は、福祉避難所の確保・運営ガイドラインを改定した。避難所での受入れ対象者の公示や目標設定、日頃の利用施設への直接避難などの対策が示されている。本市での対応はどうか。

部長 (ア)本年度6月時点で千347人のうち、策定済は21人である。(イ)避難計画作成者と支援者の確保がある。福祉専門職や支援団体等と連携し推進する。(ウ)福祉避難所設置・運営マニュアルの改訂作業に着手した。

■その他、障害者相談支援事業の消費税の課税誤りについて、事業者負担にならない対応を求めました。

避難所運営への 十分な備えを求める



たけふ久貴

日本共産党

避難所運営について問う。(ア)首都直下地震等による東京の被害想定報告書における避難所と避難所生活者数について、避難所の確保と広さに課題があることを考える。人権に十分配慮されたスペースはあるのか。スフィア基準を満たす必要があるのではないか。(イ)2次避難所の確保はどうか。(ウ)段ボールベッドの備蓄や発災時の準備は。(エ)温かい食事の提供はどのように行うのか。(オ)断水時のトイレの対応は。(カ)医療や介護などを受ける方への移動の支援が必要ではないか。部長 (ア)避難者数は2万

一般質問等の 答弁書作成について



高木章成

子どもの権利

答弁調整は市民から、「都合ヤラセではないか」、「ガチンコで議論すべき」との指摘がある一方、議員の負担になっている。都議会等の文書質問は会期末に質問を提出し、次の定例会冒頭に全議員に答弁書が配布されるので、余裕を持って答弁調整できる。導入を重ねて求める。(ア)一般質問等の答弁者の割り振り判断は誰が行っているのか。(イ)時間的制約や職員への負担はどうか。(ウ)通告の有無で答弁が変わることがあるのか。部長 (ア)総務課において割り振り案を作成。(イ)聴き取りを含め3日程度必要で

あり、議員、部局、双方に時間的な制約は大きい。市長 (ウ)簡潔・的確な答弁には、一定の準備が必要。■その他、地方自治と子ども施策全国自治体シンポジウムの成果、西岡前市長による保育園廃園条例の専決処分違法・無効判決について質問しました。



議会費による復唱等介助を受け一般質問する高木議員

生きる力、自ら学び 考える力の育成



斎藤康夫

参政党

日本の10歳から39歳の死亡原因の第1位は自殺である。生きる希望を失う原因のひとつは、「自己肯定感」の希薄性ではないか。学校教育には、これを防ぐ効果があると考え。若者が生きる希望を持てる社会を創ることを目指して質問する。戦後GHQの影響による歴史教育とマスコミの報道や映画等の放映による影響で、私は日本の存在を否定しかねない考えを植え付けられ生まれた国が日本であることに悲観していた時期があった。若い方々が自ら命を絶つ時に私と同じ感情を持っていたと推測する。小中

判決に従い園児募集再開を オーガニック給食は



片山かおる

子どもの権利

もプランに含む。子ども・子育て会議に権利部会を設置。(オ)現在の状態で取り組む。②(ア)学校給食の指針を委託業者と共有しているか。(イ)指針の見直しは。(ウ)有機と地産物の使用目標は。(エ)子どもたちの栄養調査は。減らし子育て支援施設等と複合化し建て替え、要配慮児童への対応を。(ウ)段階的縮小による子どもの権利侵害に對し子どもオンブズパ

ーソンの調査を。(エ)子どもの権利条例推進計画と権利委員会の設置を。(オ)権利条例と子どもオンブズパーソン条例の一体化の検討を。部長 (ア)精査中。(イ)控訴しないで、募集再開してほしいという声と認識。(ウ)把握してない。(エ)のびゆく子ども

震災を踏まえ3・4・11 号線整備推進を求める



河野麻美

自民党・信類

能登半島地震では道路寸断により消火・救助活動が難航した。災害から市民の生命財産を守るため強靱な道路ネットワーク構築は急務である。(ア)災害時幅員8m以上の無電柱化された道路は沿道の建物が倒壊して車両の通行が可能とされるが、道路計画地の東町には全くなく早期の整備が必要である。当該地域が抱える防災上の課題への対策は。(イ)市内には給水拠点が一箇所しかなく周辺の道路網も脆弱であり当該路線が開通することで飲料水確保体制の強化に繋がるが見解は。(ウ)震災を受け危機感を持つ

武蔵小金井nonowa 南口にひさしの設置を



渡辺大三

子どもの権利

(イ)ひさしの設置については、民有地なので、意見として承る。②イトーヨーカ堂及び小堂北東端まで。雨よけの「ひさし(通路シールド)」設置を。(ア)雨が降った時の状況について問題意識は。(イ)マンシヨンの敷地であり、市の敷地ではないので、管理組合の理解を得てひさしを立ち上げるか、JRの理解を得てJRの敷地からひさしをかけるか、いずれかの方法。設置費用は市が負担して、きちんと設置していくべきではないか。

部長 (ア)雨天時には敷地内通路を相互に通行する方々の傘が干渉して、円滑な通行に支障が生じている。認識。警察署に聞いたが「見晴しも良く、人身事故の発生はないので、設置は考えない」とのことであった。

災害対策の強化について



森戸よう子

日本共産党

①能登半島地震を受け、防災対策の強化が求められている。(ア)地震時の火災防止対策として感震ブレイカーを各家庭に設置することが重要。他市で補助金を実施している。まずは65歳以上の高齢者に支給しないか。(イ)市内の震災用井戸について、小金井市は生活水として利用できるようにしている。増設とPFAS調査をすべきではないか。(ウ)東京都はマンション居住者に対し「東京とどまるマンション」として、自宅避難を推奨する方針を明らかにしている。エレベーターの緊急停止防止装置、マン

ホールトイレの設置などを支援しないか。また、管理組合との連携を行わないか。部長 (ア)重要性は認識している。他市の状況を踏まえ研究する。(イ)今後も増設していきたい。調査を行う予定はない。(ウ)啓発していきたい。連携強化に努める。

②中小事業者は、インボイス制度の実施、物価高騰により厳しい経営状況である。物価高騰対策の対象範囲に電気・ガス代も含めている自治体もあるが、小金井市も拡充しないか。部長 国や都の動向、近隣自治体の状況等も注視していきたい。

■その他、市の財政の見通しについて質問しました。

意見書・決議の審議結果

※ 可決された意見書は、国等への関係機関に送付しました。

件 名	要 旨 (提案議員が作成)	○：賛成 ×：反対 △：退席 議：議長 (原則、採決には加わらず)													議 決 結 果								
		自		み		子		共		公		お		参		ネ		緑		街			
		河野 麻実	吹春 やすたか	五十嵐 京子	遠藤 百合子	岸田 正義	沖浦 あつし	鈴木 成夫	村山 ひでき	古畑 俊男	渡辺 大三	高木 章成	片山 かおる	たゆ 久貴		水上 洋志	森戸 よう子	渡辺 ふき子	小林 正樹	宮下 誠	水谷 たかこ	斎藤 康夫	安田 けいこ
大阪・関西万博の中止を求める意見書	大阪・関西万博は開催費用や工期の遅れなど、深刻になっている。多くの国民が願わない万博を強引に開催するよりも、能登半島地震からの復旧・復興を最優先とすべきと考え、万博を中止するよう強く要望する。	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	議	○	○	○	○	×
地方創生に貢献するサーキュラーエコノミー(循環経済)の一層の推進を求める意見書	サーキュラーエコノミーを推進し環境負荷を減らしながら健全な経済の発展を持続できる社会は、資源循環ビジネスの創出など地域に新たな価値を生む地方創生の実現にも貢献できる。自治体の体制強化への支援を求める。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○
若者のオーバードーズ(薬物の過剰摂取)防止対策の強化を求める意見書	薬局やドラッグストアで購入した市販薬の濫用・依存や過量服薬による急性中毒により、救急搬送が増加している。販売の際の氏名や年齢、使用状況等の確認と副作用の説明を必須とし、相談窓口等の体制整備も求める。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○
裏金事件の真相解明を求める意見書	自民党の裏金事件は、組織的に多数が違法行為を行ったという金権腐敗事件であり、証人喚問による真相解明が必要である。また同時に、お金で政治をゆがめてはならず、企業・団体献金の全面禁止を求める。	△	△	△	△	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	△
能登半島地震における住宅再建支援の抜本的拡充を求める意見書	能登半島地震における住宅再建は極めて重要な課題である。住宅再建支援法における支援対象を「半壊」、「一部損壊」に広げ、支援額を600万円以上に引き上げること、住宅支援法の適用条件を緩和することを求める。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○
能登半島地震を踏まえて、志賀原発の廃炉を求める意見書	能登半島地震で志賀原発では、一時的に冷却が停止するなどのトラブルが発生した。能登地方では、地震活動が活発化しており、北陸電力も「複雑な断層帯」と認めている。よって、政府に対し志賀原発の廃炉を求める。	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	議	○	△	○	○	×	
「国の補充的指示」を含む地方自治法改正法案の提案を急ぐことなく広く丁寧な議論を求める意見書	法案は「国の補充的指示」を個別法に規定されない国民の安全に重大な影響を及ぼす事態について曖昧な規定として立法事実も明らかでない。地方分権が後退する危険性があり、国民・地方自治体関係者との議論を求める。	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	議	○	○	○	○	×	
訪問介護基本報酬の引下げに反対する意見書	人件費比率が72.2%の訪問介護の基本報酬引下げで単独型小規模事業所の経営は悪化し閉鎖倒産が相次ぐ。処遇改善加算で賃金を上げて物価高騰の中で経常費をまかなえない。訪問介護基本報酬の引下げ撤回を求める。	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	議	○	○	○	○	×	
能登地震を踏まえ、全ての原発再稼働の見直しを求める意見書	能登地震を踏まえ、原子力災害対策指針と各自治体の原子力防災計画(避難計画の一層の推進を求める意見書の見直し及び活断層による地震動評価の過小評価の指摘を受け、全国の原発の再検証を実施しないまま、原発を再稼働しないことを求める。	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	議	○	△	○	○	×	
香害による健康被害の実態調査と実効性のある施策の推進を求める意見書	柔軟剤等に含まれる揮発性有機化合物による香害被害への対策として①国と企業による実態調査と健康被害の解明、②柔軟剤等の香料成分表示の義務付け、③香害の周知啓発強化と都道府県における専用窓口設置を求める。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○
国民の負担増となる少子化対策の財源の見直しを求める意見書	3.6兆円の少子化対策の財源を医療等の歳出削減、公的医療保険料に上乗せで充てようとしている。国民負担が増えることへの理解は得られない。「子ども・子育て支援金」は撤回し少子化対策の財源の見直しを求める。	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	議	○	△	○	○	×	
公立小・中学校の給食費無償化を早期に実施することを求める意見書	多くの自治体で給食費の無償化が行われているが、実施困難な自治体との格差を懸念する声も上がっている。自治体ごとの給食の良さを残しつつ、不公平感のない給食費の無償化を、国として早期に実現することを求める。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○
優先整備2路線(都道3・4・1号線、3・4・11号線)の検証について、白井市長の提案姿勢の反省と議会への説明を求める決議	答弁が二転三転し何のための検証が不明瞭と指摘された本検証について、市長には市内での検討を重ねる成熟度を高めてから議会に提案すること、検証業務着手前に目的や個別具体のプロセス等を議会へ説明することを求める。	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	議	×	×	○	○	×	
東京地方裁判所による「専決処分は違法、市立保育園2園廃園条例は無効」との判決を踏まえ、市民への謝罪と説明及び判決を重く受け止めたコンプライアンス遵守の行政執行を求める決議	前市長の責任は極めて重く、市民に謝罪と説明を行うべき。司法により「違法、無効」と判断された条例を、行政が運用することは、「法律による行政の原理」及び「三権分立の原理」から言っても許されない。	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	×	×	議	×	×	○	×	×	
公立保育園の廃園方針と廃園条例を撤回しない白井市長に責任を問ひ、1日も早い正常化を求める決議	前市長が行った専決処分は違法であり、条例は無効と判決が下されたが、白井市長は公立保育園の廃園方針と廃園条例を元に戻さないと表明した。公約違反であり、その責任を問うとともに1日も早い正常化を求める。	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	×	×	議	×	×	○	×	×	
十分な説明責任を果たさない白井市長に優先整備2路線に対する直営2次検証を行わないことを求める決議	検証結果が2路線は不要となれば必要と主張する側から歪んだ検証だったと批判されるはず。逆も然り。都が優先整備路線から外す根拠になり得ると考えられず、余計な混乱を引き起こし事態を悪化させる可能性が高い。	×	×	×	×	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	議	×	×	×	×	○	

【会派略称】 自：自由民主党・信頼の小金井 み：みらいのこがねい 子：子どもの権利を守る会 共：日本共産党小金井市議団 公：小金井市議会公明党 お：小金井をおもしろくする会
 参：参政党小金井 参：参政党小金井 参：参政党小金井 参：参政党小金井 参：参政党小金井 参：参政党小金井

委員会の視察先とテーマ

建設環境委員会

4月18日、19日

- ▷愛知県岡崎市
脱炭素先行地域「どうする脱炭素?岡崎城下からはじまる、省エネ・創エネ・蓄エネ・調エネのまちづくり」について
- ▷長野県飯田市
「地域環境権」と地域公共再生可能エネルギー活用事業について

環境モデル都市の取組について

4月24日

- ▷東京都多摩市
地域公共交通計画について

※過去の行政視察報告書は、議会図書室(本庁舎4階)または情報公開コーナー(第二庁舎6階)で閲覧できます。また、行政視察報告書を市ホームページで公開しています。

厚生文教委員会

4月25日、26日

- ▷兵庫県西宮市
地域生活支援拠点の整備(多機能拠点整備型)について
- ▷兵庫県相生市
子育て応援券について

総務企画委員会

5月13日、14日

- ▷栃木県鹿沼市
消防団の先進的な取組について
- ▷千葉県木更津市
地域通貨アココイン、らぶポイント事業について

議会運営委員会

5月16日、17日

- ▷茨城県取手市
議会DX(ICT)について
- ▷福島県会津若松市
議会基本条例に基づいた議会評価について

裏金事件の真相解明を求める意見書

賛成討論(要旨)

小林正樹(公明党)

政治に対する国民の信頼回復に向け、国民が納得できるように説明責任を果たし、再発を防ぐ仕組みを構築しなければならぬ。現在、政治倫理審議会が行

われているが、開くたびに国民の不信感が増すばかりで積極的責任を果たさずという姿勢が全く伝わってこない。公明党は結党当初から清潔な政治の実現を目指し、汚職や腐敗を防ぐ改革をリードしてきた。政治資金の収支の透明性の強化と、不正の抑止力を高める罰則の強化等の法改正を進めるべきである。

市民と議会の交流会議 議会報告会を開催 (1月26日、1月27日)



各常任委員会・特別委員会からの報告

厚生文教委員会 障害福祉計画、介護保険・高齢者保健福祉総合事業計画について、委員会として、人材確保や障害者支援施設の設置など審議状況を報告しました。

建設環境委員会 市民との協働による気候危機対策の推進に関する陳情書の審査状況、地域公共交通活性化協議会の状況について審査状況を報告しました。

総務企画委員会 原油価格等高騰対策事業者支援事業、消防団第一分団の不正事件について、調査中であることを報告しました。

庁舎等建設及び公共施設マネジメント推進調査特別委員会 一昨年11月からの新庁舎等建設の経過、昨年6月の9項目の検証についての議論、庁舎と福祉会館の同時竣工に変更して建設を進めることなどを報告しました。

行財政改革推進調査特別委員会 市立公園管理の委託化、緑センターの委託化などの公民連携、自治体DXの推進と人材確保策の議論の状況を報告しました。

予算特別委員会 原油価格等高騰対策事業者支援事業補助金事業、新庁舎等建設の実施設計変更予算など2件の補正予算、下水道事業における消費税の納付税額不足の補正予算などの審査状況を報告しました。



テーブルトークで、市民と議員が意見交流

環境問題



- 地球気候危機の市民会議の陳情審査での議論は？
- 学校の教室の化学物質の調査を実施し、子どもを守ってほしい
- 北大通りの樹木の剪定について

教育・福祉



- 給食食材をオーガニックか有機野菜にしてほしい
- 公立保育園の廃園はどうなっているのか
- 図書館が老朽化・劣化している

庁舎等建設



- 防災本部がある市役所は早く建設してください
- 建設費の目標額はいくらのが財政の規律性が保たれていない
- 両案を市民に判断を仰ぐべき

まちづくり



- ムサコ北口、ヒガコ北口の再開発は止まっていないか
- 南北の道路が少なく坂下が発展しないのでは？

駅頭で開催案内



次回は8月

次回の議会報告は、次の日時で開催いたします。

- ▷8月9日(金) 19時から
小金井 宮地楽器ホール
- ▷8月10日(土) 10時から
前原町西之台会館

※詳細は改めて市議会HP等でご案内いたします。

参加者アンケート

【議会報告会に対するご意見・ご感想】

共有タイムの報告を聞いて各グループでわりと良く話し合えた。／今まで議会等に関心でしたが、それなりに楽しかった。／初めての参加、良くわかりませんでした。／事前にメールで質問を出しておく方式の検討を。／会議をやったではなく、何が進んでいるのか説明を。／議会の審議によって何が変わったのか、補われた視点は何だったのかの重要点を次回は是非入れてほしい。／庁舎グループに参加。市民案という議会が決まっているだろうことを混ぜ返すような意見があり理解不能でした。／議場に初めて来ましたが、やはり市庁舎建てましょう。／グループトークは2組以上で話ができますね、楽しかった。／議会からの報告部分は難しいかもしれないが工夫がほしい。

【小金井市議会に対するご意見・ご要望】

市民の声をたくさん聞いてほしい。足を運んでほしい。／もっと小金井市、議会に関心を持ちたい。／一致点を追求して前に進んでほしい。／これからも市長部局の監査(広義)をよろしくお願ひします。二元代表制下における地方議会に期待する第一の役割はそこです。

小金井市議会初 高校生模擬議会を開催 ～中央大学附属高等学校の生徒と交流～



小金井市議会では、主権者教育の取組として高校生に対して、身近な政治の場である市議会の役割を伝えることで、市議会と市政への関心を高め、主権者としての土台となる認識を深める機会としていただきたい、また、市議会としても、高校生と交流を図ることで、政策形成に向けた一助としたいとの考えの下で取り組んでいます。



9:05	模擬議会開会
9:06	議案上程
9:07	議案説明 行政役の議員が議案を説明
9:12	質疑応答 議員役の生徒が自主的に質疑
9:32	グループトーク 3つのグループに分かれ議案の意見交換
9:52	意見発表 演壇に立ってグループごとに討論
10:02	採決 議案の賛否を起立採決
10:05	模擬議会閉会

【議題は「給食無償化」】

中央大学附属高等学校の3年生を対象にした特別授業は2回目の実施。昨年は同校の図書館に議会が出張して、36名の高校生と一緒にテーブルトークを行いました。今年の特設授業では参加生徒が9名と少数であることや事前アンケート希望から、2月8日に実際的小金井市議会本会議場を使って「高校生模擬議会」を実施しました。『公立小中学校給食の無償化』を議案として、参加生徒が議員役となり、実際の議会進行と同じように議案上程から討論・採決まで行う意思決定の流れを体験してもらいました。



【まずは緊張をほぐすアイスブレイク】

議員の報酬は？女性議員の割合は？普段は何しているの？・・・などなど議会にまつわる疑問を2択クイズ、回答と議会説明を交えながら盛り上がりました。



【主な質疑】

- ・線越金25億円から2.3億円を使うデメリットは？
- ・国補助が打ち切られた時の対応は？
- ・同じ子どもだから私立も対象にすべきでは？
- ・憲法第26条に鑑み国に無償化を訴えては？

【グループトークで示された意見】

- ・地域間格差が生じてしまうのでは
- ・高齢者など子育て世帯以外の理解が必要
- ・給食の質や自由度が失われるのでは
- ・一度始めたら続けざるを得なくなるのでは



【主な討論・意見発表】

- ・国の重い腰を上げるためにまず市が動くべき
- ・義務教育の一環として給食無償化すべき
- ・低所得でご飯を満足に食べられない子や食育の観点からも給食無償化で保障すべき

【採決】

起立全員で議案は可決されました。鋭い意見を付したの賛成や、「次は賛否が分かれる議題で議論したい」との声もあり、議会として今後の参考となるご意見を頂きました。



【アンケート結果】

授業の前後で行った参加生徒へのアンケート調査では、議員に対する印象について、授業前の「何をしているかわからない」などネガティブな印象から、授業後は「市議会について伝えようという工夫と熱意を感じた」と印象が変わり、授業はどうだったかという設問には7人中5人が「とても良かったので後輩にも勧めたい」、2人が「良かった」と大変好評でした。

詳しくは市議会HPの主権者教育への取組の『高校生模擬議会実施報告書』をご覧ください！

原稿は議員が作成しています

次の定例会は令和6年5月30日(木)開会予定です。